



調布市議会議員、大河みとこの議員活動レポートです。市民と市政の架け橋となるべく奮闘中です。是非お読み下さい。

元気派市民 大河みとこの市議会レポート

3月議会

# みみチャンネル

## NO.44

2004年 春号

元気派市民とみとこの会  
〒182-0011  
調布市深大寺北町1-31-1  
Tel&Fax 0424-88-4137  
<http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/>

### 主なニュース

- 元気派の代表質問 市民のための行政を目指す行財政改革を・・・P 2-3
- 元気派だより 国領に市民活動支援センターオープン予定・・・P 4-5
- みとこの議会レポート 平成16年度一般会計予算に反対・・・P 6-7
- 元気派ひろば だるま市バザー報告 / 元気派ミーティング・・・P 8



## 公共施設は市民のもの。 市民参加で、今ある公共施設 の有効活用を！

市長は平成十六年度より、新たな行財政アクションプランを定めました。これには保養所の廃止、公共用地の売却、使用料手数料の見直しなど従来市民が受けてきたサービスの痛みを伴う大胆な見直しが含まれ、三年間に二十億円余りの財源を確保する計画です。新規事業としては、仙川に約二百人規模のホールと保育園の複合施設建設、中学校給食の実施などが予算化されている一方で、地域活動の拠点として親しまれていながら老朽化にあえぐ西部公民館の改修工事は先送りされ、大町小学校跡地活用は、検討を三年間継続する計画にとどまっています。今後、憩いの家がどうあるべきかの検討がされぬまま、利用者の多い「布田憩いの家」の売却は早々に決定され、深大寺保育園の跡地も売却予定になっています。新施設建設の前に、今まで地域で親しまれてきた公共施設を生かす施策が必要と考えます。

## 借金を増やし、事業の優先順位に納得 できない予算に反対

仙川のホール建設は、今まであったサービスを見直してまで必要なことでしょうか。「開発優先から市民の暮らしを大切にすまちづくり」を形にした事業選択なのでしょいか。行財政改革を避けて通れない時代であるからこそ、改革の成功のためには行政が行うべき「公共の福祉」とは何か、まちの未来像を具体的に示すことが必要です。三月の予算議会では、市民にその必要性が説明できない新規事業を含む平成十六年度予算に、私は一人反対しました。市民と共に考え、共に実践するということなら、市長は何故その改革が必要かを市民に示してから、新規事業をスタートすべきでした。元気派市民の会が行政に求める改革については、二ページの代表質問を是非お読み下さい。元気派市民の会は「市民財産」の有効活用について、市民と共に考え、決定していくよう今後も行政に求めていきます。

調布市議会議員 大河みとこ

### 元気派講習会 「さりげないフラワーアレンジ」

身近な草花と材料で「フラワーアレンジメント」をしてみませんか、お茶を飲みながらゆっくりと。

5月25日(火)

10時半～12時半

「スペース オブパイフォー」にて  
(深大寺東町「梅の湯」のすぐそば)

参加・材料費共1000円

参加を希望される方は、事務所(0424-88-4137)までご連絡下さい。



就職した娘の出動姿を見ながら、子どもが自立するまでの期間の短さを実感しています。子育ては楽しみたいとすぐ終わってしまう様です。(みとこ)



### 元気派市民の会の 代表質問(要旨)

## 中長期の財政展望に立ち、 市民のための行政を目指す 行財政改革の推進を

元気派市民の会は、「暮らし」という観点から、誰もが平等で尊重される平和な地域社会実現に向けて智慧を出し合い、未来ある子どもたちに無用なつげを残さずに、「一歩進んだ調布のまちづくり」を進めようと提案してきました。これからは地域で安心して暮らし続けることができるように、市民自らが自分で考え決定していく、市民のための行政「自治体政府」を目指すべきです。国の政策転換で、さらに財源確保が難しい状況です。自立した組織をめざした自治体政府の職員としての「内発的な改革」こそが行政にとって緊急な課題のはずです。以上の基本認識に立ちながら、「みんながつくる笑顔輝くまち調布」実現に向け、「自分のまちのことは自分で考える」という組織に変革していくための努力と市長公約である「暮らしを大切にすまじづくり」の実現を求め質問しました。

### 1 自治体政府として機能するための「内発的な改革」の推進を

職員の自治意識を高め、使命感や倫理観を持って仕事に立ち向かう意識改革が進めば調布のまちは変わっていくと考える。

職員の自治意識向上のための意識改革と自己開発は欠かせない。職員やる気をどのように客観的に把握しているか。職員のやる気、経営感覚を高めるために提案するしくみや取り組みは。

予算が枠配分方式へ移行すると新規政策実現の根拠の説明や財源内訳、効果の予測など、職員自らが考える組織として動くことが期待される。そのためには自己責任・自己決定のできる組織づくりと庁内の情報共有が必要。部課の使命・方針は明確か。横断的に協力し柔軟な連携を深めるためのしくみや取り組みは。

行政は誰のために仕事をするのか自覚が必要。行政評価は市民と行政とが協働することを提案する。労力に比べ機能しなかったという事務事業評価を改善・進化ではなく発展的解消する意味は。その中で行政評価へと進むならいは。市民と行政が一緒

に評価している事業はあったか。今後増やす意向は。

### 【市長答弁】

職員意識調査により把握。公平な評価でやる気を確保。自治体にはマネジメントの視点が必須。自治体経営研修などの実施でコスト意識の高揚に努力。毎年度基本的施策や予算を基準に運営方針を策定。庁議、行財政運営会議などで横断的な連携を図る。事務事業評価の改善に留まらない行政評価システムの確立であることから「発展的解消」。今後行政評価制度の確立を進める。市民と行政の評価の事例はない。

### 2 行財政改革は、市民の暮らし優先とし、市民の声を生かした「経営方針を

最優先事業である京王線関連事業などに多大な投資が見込まれる中、市長は財政の弾力性、健全性を優先するとしているが難しい選択。税金の使い方を納税者である市民と議論し、市民の承諾を得た市政運営を求める。作成を求めた財政白書が十七年度

に公表される。財政情報の公開をどう考えているか。市長は予算編成の基本方針では自主自立的な行財政改革を挙げているが、現実の内容は厳選された事業とは何かからわからない。市長の基本的な考え方は何か。中長期財政展望での身の丈にあった財政健全化計画はいつ作成するのか。市長が認識する臨時的財政対策の抑制とはどんな考えに基づいているか。

あれもこれも盛り込んだ実施計画を推進する行革アクションプランには、三年間で二十億円余の財源確保に向けて事業の廃止延期、公共財産の売却なども含まれるが、三月五日号の市報ではわかりにくい。痛みを伴う政策提案には、より丁寧な情報公開が必要。市民と共に検証しながら実行するための具体的な情報公開の方法と市民との議論の場所をどう想定しているか。公共財は市長のものではなく市民のもの。市民財産である公共施設の見直しは、情報共有を前提とした住民参画での決定を提案。公共施設の再配置計画は市民との合意形成をどのように位置づけているか。



神戸大学で開催された国際公会計学会全国大会に出席する。公会計の定義づけは今だ曖昧。

実施計画事業を厳選する過程で、事業費未計上の事業を、計画通り実施すると結論付けたプロセスや実施内容等について示さなかったのは問題。未計上の中学校給食は四年間で実施予定と説明後一時間程で二年に変更と報告を受けた。庁内に3%マインスイーリングを指示、職員に汗をかかせた結果の三億円余の半分を何の説明もなく瞬時に決定できる組織で、職員が今後予算編成に努力できるだろうか。事業決定の緊急性、必要性、事業効果の評価方法は何を基本に据えていたか。高齢者に関する施策の見直し、廃止で支出を抑制し、箱物行政を批判した市長が、なぜ芝居小屋と保育園の複合施設を優先事業として実施するのか。新選組事業に二年間で、一億四千万円もの税金を投入するが、行政が実現すべき緊急性は何か。

### 3 市民が求めるまちづくりの重点施策の提案

環境は行政が主体的にかかわる重要政策だが、予算配分が少ない。総合的な環境指針を持った取り組みを求める。豊かな自然こそが調布の文化。都農業高校神代農場付近は谷戸のある貴重な場。都との連携で活用できる可能性の期待と展望は。

### 【市長答弁】

財政白書はできるだけ早期に情報提供し、財政状況の共有に努める。予算編成は基本方針に基づき計画・行革・予算が一体となって取り組んだ。臨時的な財源対策に頼らない財政構造を確立し持続可能な財政運営に努める。

プランは市としての方向性。プラン実現に向け議会での説明はもとより直接市民に伝える方法も検討。庁内で現況の把握をした上で再配置計画の素案策定。市民参加の時期、手法は今後の検討課題。

判断に際しての視点は事業によって重きをおく所が効率性、公平性、タイングであったりする。新選組事業はまたないビジネスチャンス。

### 【市長答弁】

市民参画を前提に総合的な環境施策の指針となるよう環境管理計画を見直す。都と相談、調整しながら活用を図る。教育環境の充実に向けた施策は様々な。少人数指導、扇風機の設置など。健康づくり、健康予防事業の重要性を

子ども施策は子どもの目線で検証し、限りある財源の中で政策の優先順位を明確にし、緊急性の高い施策への努力を求めるが、学校給食実現など大型事業決定の中、市長が考える緊急性の高い子ども事業とは。健康政策は、高齢化に向けて社会のセーフティネットとして総合的視点に立った政策展開が緊急課題。高齢者を支える地域支援事業への予算配分が少ない。憩いの家売却も提案されている。具体的高齢者総合施策は。「ごみ有料化は排出者責任を問う」と同時に最終処分場へのごみ減量を目標に掲げる一方で、説明の付かない減免対象者を提案するなど政策のバランスを欠く。市民の関心がごみに集中している今、ゴミ処理施設建設規模縮減に向けた数値目標の具体的な努力は。

### 傍聴記

私は初めて市議会というものを傍聴しました。二十歳になり選挙権を持ち、もうすぐ社会人になる私にとって、貴重な体験でした。私は今まで議会という言葉には、ヤジの飛ばし合いという印象がありました。この日は静かに進んでいき、こういう議会もあるのだなと思いました。おじさんやおじいさん位の議員が多く、議場全体が暗い色の中で、巳渡子さんが明るい色を着ていました。とても目立っていて、とてもかっこよかったです。そして、質問を読むときはゆっくりと聞きやすく、内容も誰でも分かるような言葉を使ってくれてありがたかったです。しかし、市長の答弁は難しい言葉ばかりでわかりにくかったです。議会内では難しい言葉で通じるけれど、もっと広い範囲の人が理解できるようにすることは必要だし、巳渡子さんは努力しているのだらうと思いました。こういう議会なら自分たちのお金がどういう風に使われているのかを知る機会になり、若い人たちもどンドン傍聴すればいいのなと思いました。また機会があれば傍聴してみたいと思います。深大寺北町在住 宮川 美香

鑑み、多くの元気な高齢者が参加できるよう各種事業の充実に努める。十五トン程度の施設規模の縮小を目標に、市報などで意識啓発に努め、効果を最大のものとする。

運動不足解消に友人が発行する健康情報紙に載っている肩こりに効くストレッチを実行してみる。三日坊主では効き目は薄い？(みとこ)

みとこの活動日誌



- 1月 6 新春市民のつどい
- 9 調布市青年会議所賀詞交換会
- 11 出初め式
- 12 成人式
- 14 武蔵境通り住民協議会
- 21 広域交通問題等対策特別委員会・幹事長会
- 22 月例フォーラム(都予算内示説明)市議会だより委員会
- 23 市川房枝記念会新年のつどい
- 24 調布市ごみ説明会・新ごみ処理施設整備基本計画シンポジウム
- 25 調布市駅伝大会
- 28 鉄道敷地利用検討会傍聴
- 30 議会改革協議会
- 31 国際会計学会関東部会
- 2月 1 市民参加プログラム
- 4 自治体トップフォーラム
- 6 特別委員会視察(地下構造と換気構)
- 7 市川房枝記念会政治参画セミナー
- 7-8 全国自治体議員行財政研究会
- 12 環境保全審議会
- 15 国際会計学会部会
- 16 二枚橋衛生組合協議会 傍聴
- 17 議員研修会
- 18 総務委員会・都市計画審議会傍聴
- 19 幹事長会・予算内示会・元気派ミーティング(議会報告会)
- 21 武蔵境通り住民協議会
- 24 議会改革協議会・幹事長会・ごみ懇談会傍聴
- 3月 1 議会運営委員会・幹事長会
- 3-22 3月議会開会
- 17 ごみ検討会
- 20 調布市商工会青年部20周年
- 23 調布市高齢者福祉推進協議会
- 24 NPOボランティア市民活動支援センター報告会
- 25 北ノ台小卒業式・救急救命普通講習会
- 27 国際会計学会全国大会
- 28 武蔵境通り住民協議会
- 29 市民参加プログラム
- 31 幹事長会



# 元気派だより

## 市民活動支援センターが2005年2月国領にオープン

国領駅北口の高さ120mの再開発ビルの1階に「ふれあいの家」、2、3階に市民プラザ「あくろす」(市民活動支援センター)が来年2月にオープンします。広さは併せて2,520㎡で、ボランティア・NPO支援センター、男女共同参画推進センター、産業振興センター、チャレンジショップ、パートバンクなど様々な機能が入った施設です。3月24日に開催された市民活動支援センター報告会では、「市民が主役のまちづくり」を進めるにあたって、まちづくりを支える市民活動の拠点としての役割を担う場で、市民活動本意の機関を目指しているとの事。活動支援できる人的機能、場の提供の説明などされましたが、センター運営の詳細について、今後どんな形で進めるか様々な意見が出されました。指定管理者制度(7ページ参照)も導入された中で、市民活動に沿って有機的に機能し、動き出すまでに解決すべき課題は多い。市民の意見を聞き、最後は行政が調整していく時代は終わりました。運営の詳細も含め市民との協働のまちづくり事業として、もっとオープンにしながらパートナーシップをお互いに学び合う事例にすべきではないでしょうか。

## 調布市の高齢者政策のゆくえ

調布市では、市民の声を反映した高齢者施策を実施するために市民参加も含めた高齢者福祉推進協議会を設置し、運営しています。協議会は3つの部会で構成されています。元気派はできるだけ傍聴に努めていますが、3月23日の協議会を傍聴した所、16年度各部会は主に下記のテーマを中心に活動していくことがわかりました。

1. 苦情対応研究調査部会；苦情等の情報収集総括票を発行し関係機関に送付。福祉と医療の連携・両機関の意見交換の場を設定し、医療機関との連携に取り組む。
2. 高齢者総合計画推進モニター部会；17年度の調布市高齢者総合計画改訂作業に向けた活動と、改訂作業に必要な諸制度の勉強会開催。
3. 高齢者施策調整部会；介護予防、特に精神的部分の喪失感を有している方の問題に取り組む。「老人憩いの家」の今後について議論する。また高齢者虐待も議論していく。

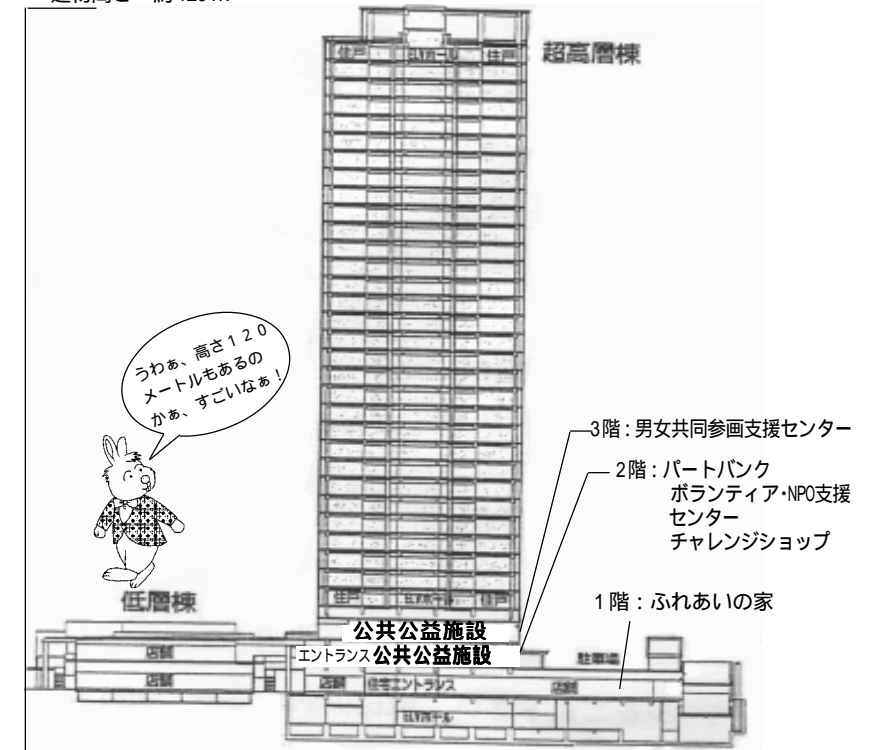
それぞれの年間会議スケジュールが4月5日号の市報にくわしく掲載されています。身近な高齢者の暮らしについて真摯な議論が積み上げられてきた協議会です。電話申し込みで傍聴できます。気軽に傍聴してみましよう。(81-7149 高齢福祉課)

## 新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会報告出される!

三鷹・調布市の市民参加の新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会での検討結果が答申され、長友市長はそこで共同処理堅持との見解を示しました。答申の中で建設適地対象地は6ヵ所示され、施設規模は320tから310tに縮減、処理方式は環境への負荷、安全の確保へ最大限の努力を求めています。元気派では97年に生ごみに関する意見書提出、98年には「ごみについて考えよう」など早くからごみ問題に取り組み、当初より各事項の決定過程における適正な情報公開と市民参加の保障を求めてきました。今後より一層の透明性のある決定過程を求めていきます。地域への環境負荷軽減のためには、排出者責任はもとより、「ごみ有料化」が実施された今、市民ひとり一人のごみ減量への努力が施設規模を小さく出来ます。ごみを減らす工夫を心掛けたいものです。



建物高さ = 約120m



国領駅北地区第一種市街地再開発事業調布市公共公益施設基本構想より

私たちの生活に身近な議会になるといいな。



## - 議会改革 -

1・2・4月の「議会改革協議会」で検討された主な結果です。

1. 「車椅子傍聴」は、傍聴席の改修が困難なため、本会議場内の傍聴を前向きに検討していくことで、全員了承。費用面や構造上の問題など、実現には時間がかかりそうだが、実現に向け前進できた。
2. 市役所2階への議員出退掲示板設置提案は、設置する方向で考えていく事に。
3. 元気派の「一日一常任委員会開催」は、現在の同日開催では傍聴しにくいので提案したが、賛成少数で残念ながら改革されず、現状のまま。
4. 歳入歳出全般について、市長も出席し審議する予算決算特別委員会の開催提案は、現状の各委員会での分割審議を良しとする意見が多く、改革されず。
5. 一般質問は会派人数に関係なく人数制限を廃止することに。ただし、一年間試行的に、質問答弁で1時間という時間制限を設けて行うことに。
6. 各委員会の報酬を改め、各議員の市政調査費を増やし、議員活動を活性化させる案は、行政との兼ね合い、組合議会との関係など難しい問題もあるので、会派でも十分検討すべき今後の課題という事に。
7. 代表質問は複数会派のみ行う提案は、政治主張する代表として会派を名乗っている以上、質問は人数に関わりなくできるとの意見もあり、現状の単数会派の代表質問は、今後も変わりなく可能という事に。

慌て者の私に「ハルワラ」の券?を交通安全にと自分がもらった券を譲って下さった方がいました。ありがとうございました。(みとこ)



個人の自由意思まで押さえつけようとする重苦しい社会へと世の中が進んでいく。そんな危機感を覚えるのは私だけでしょうか。(みとこ)

# みとこの議会レポート



## 仙川のホール建設は市長の公約違反。事業見直しで得た財源は、市民生活を支える事業へ配分を！

平成十六年  
調布市議会第一回定例会  
三月三日(二十一日)～二十日(間)

厳しい財政状況下、借金してまで箱物の新規事業を推進する8.9%プラス予算が可決される！

平成十六年度一般会計予算について

(賛成多数で可決)  
元気派市民の会・反対



平成十六年度予算は次の二点のために歳入が不足した。  
減税補てん償五十五億円の一括償還金の準備がないため、全額借り換えた。  
新規事業の前倒しなど昨年に続く総花的予算付け。  
その結果、税収の増加も期待できないなかで大幅に不足する財源を昨

に続き、貯金の取り崩しと赤字地方債で、借金となる臨時財政対策債を十三億円借り入れて財源確保した。特に今年度予算は市民財産である土地の売却や高齢者である市民の痛みを伴う行革プランを示す一方で、市長公約である「開発優先・箱物行政の見直し」に反する仙川のホール建設を緊急課題と位置づけ予算化した。安心して暮らし続けるまちづくりを目指すなら、まず納得のいく将来ビジョンを示し、そのために家庭では当たり前のやりくり・見直しをする過程を踏んだ後で市民要望に答えるべく、新規事業を決定していくのが筋だった。場当たりのな事業選択では納税者である市民は納得できない。予算方針では、臨時的な財源対策の抑制や全事業のゼロベースの見直し、事業の緊急性、必要性、事業効果の評価をし事業の厳選を目指したが、結局あれもこれも盛り込んで借金を重ねる結果となった十六年度予算に反対した。  
総務費＝自治体職員が外部委託に

臨時財政対策債  
地方財政の財源不足を補てんするために認められた借入金。家計でいえば不足する今年度の赤字分を借金するという事。不交付団体の調布市は全額借金となる。これを活用し新規事業を重ねていくと、財政規模を見誤り、身の丈にあった事業見直しをする作業が結果的に遅れてしまう要因になる。  
頼らず、現場に足を運び自前の計画や政策決定を作り上げていくことを要望。行財政改革アクションプランで、市民に痛みを伴う内容、廃止、見直し提案は、より丁寧な情報公開と市民と共に改革の方向性の再検証を。また、「新選組」関連事業に六千万円をつけ、二年間で一億四千万円もの投資事業になった。借金を状況で増額し、専任職員を配置し行政が推進する事業が疑問。決算時が心配。  
民生費＝子育て支援事業の充実が評価。学童クラブの待機児童が出ない努力を求める。高齢者を支える支援事業への予算配分が少ない。憩いの家売却提案があるが公共財は市民のもの。廃止・売却が先で高齢者政策への対応が後では当事者の不安を招くだけ。総合的視点に立った高齢者への健康政策の展開を求める。  
衛生費＝ごみ有料化が効果ある施策展開になるように、ごみ減量へ具体的

な数値目標を掲げた具体的努力を。ごみ処理施設建設への具体的な場所、規模、方式に向けて市民に納得のいくプロセスと市の誠意ある取り組みを要望。  
教育費＝少人数学習への取り組みやコープの充実などの努力は評価。シックハウス対策では各部と連携を取り学校施設環境政策への努力を要望。小学校スクールカウンセラーの早期全校配置、学校図書館の充実、子どもたちが普段の生活で困っている施設の改善など、各学校の当事者の声に耳を傾けた政策の優先を要望。  
土木費＝京王線関連のまちづくり事業の優先順位の具体的検討と裏付けとなる財源内訳を明確にするよう要望。仙川に約二百人収容のホールを持つ芝居小屋と保育園の複合施設建設への予算化は、事業の緊急性が理解できない政策決定と指摘。  
調布市ふれあいの家条例の一部を改正する条例  
調布市ふれあいの家の指定管理者の指定について  
(満場一致で可決)  
元気派市民の会・賛成



## 指定管理者制度とは

今までは公の施設の管理は公共・公的団体等に行政の管理権限の下で委託してきたが、自治法改正により、議会の議決があれば民間業者でも行えるようになった。市長が最も効果的かつ効率的に管理をする団体を指定し、議会に提案する仕組み。「ふれあいの家」は指定管理者の指定として初めての事例。適正な管理者をどう判断するか、管理候補者の選定方法の客観性、公平性が今後の課題。今後国領北口再開発ビルの管理運営はどうするか気になる。

調布市敬老金支給条例の一部を改正する条例

(賛成少数で否決)  
元気派市民の会・賛成



【元気派の意見】「敬老金見直し」は当事者への説明責任では問題があるが、この見直しで得た財源は、「生活支援見守りネットワーク」事業の推進と在宅介護支援センターなど、安心して暮ら

し続けるための高齢者事業に振り分け。慶事の祝い金も一部残すなど、当事者に丁寧な説明があれば理解される改正。事業を見直す中で財源確保して、急がれる新規事業に振り分けていく進め方は理解できると考え賛成。  
東京外郭環状道路整備促進を求める陳情  
(賛成多数で可決)  
元気派市民の会・反対

【元気派の意見】外環道路の地下構造への変更方針は示されたが、インターチェンジなどの場所も示されない中で、環境への影響を考えると事業の促進を敢えて求めるものではない。また、国の道路事業も根本的な見直しが行われている今、市の外環事業への基本方針も定かでないこの時期に、道路整備に対して促進を求めていくかどうかの判断は慎重にすべきと反対。



(賛成少数で否決)  
元気派市民の会・賛成

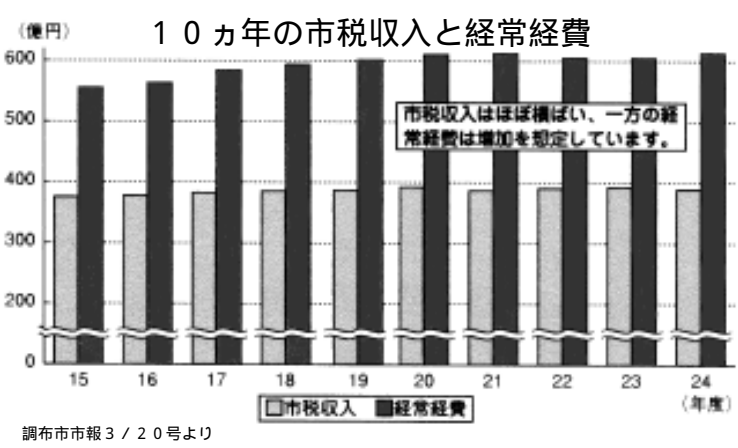
六十五才まで働ける雇用環境の整備を求める意見書  
(満場一致で可決)  
元気派市民の会・賛成

【元気派の意見】有事法制があることで自衛隊のイラク派遣へ繋がってきたことから、有事法制の廃止等を求める意見書に賛成。しかし現実には有事法制が存在し、国民の人権確保に重大な影響を与える有事法制の整備が進む中では、直接に住民保護の任に当たる地方公共団体に、幅広い権限が与えられるよう配慮した国民保護法制の整備も求める必要があると考え、両意見書に賛成。

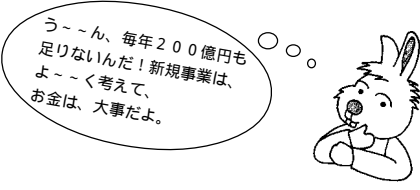


【元気派の意見】年齢に関わりなく多様なニーズに対応した雇用・就業機会の確保が重要だが、厚生年金の支給開始年齢が引き上げられ、定年年齢は現状のままの今、生活に不安を持つ方も多いことは理解出来るので意見書には賛成。  
有事法制の廃止と有事関連法案の撤回を求める意見書  
国民保護法制の整備に関する意見書  
(賛成少数で否決)  
元気派市民の会・賛成

【元気派の意見】有事法制があることで自衛隊のイラク派遣へ繋がってきたことから、有事法制の廃止等を求める意見書に賛成。しかし現実には有事法制が存在し、国民の人権確保に重大な影響を与える有事法制の整備が進む中では、直接に住民保護の任に当たる地方公共団体に、幅広い権限が与えられるよう配慮した国民保護法制の整備も求める必要があると考え、両意見書に賛成。



市税収入はほぼ横ばいなのに、経常経費は毎年拡大傾向です。家庭でいえば、400万円程の年収なのに600万円近い生活をしようということになります。へんですよねえ。



好物のチョコプレート、最近はおっぱい茶味にびっくり。毎、黒豆、コーヒード豆など中身も豊富になってくれています。(みとこ)

# 元気派ひろば

次の議会は六月十日頃からの予定です。大河みとこは一般質問を行います。是非傍聴に行きましょ。詳しくは議会事務局にお問い合わせ下さい。(TEL 0424-81-7291)

## だるま市バザー報告と今後のバザーについて

3月3日、元気派のだるま市バザーを行いました。今回で10回を数え、地域にも定着し、「楽しみに毎年立ち寄っています」という声も聞かれました。ありがとうございました。今まで元気派では皆様からのご協力を得て、バザーを年数回行い、その収益金は会報発行や学習会費用に運用してきました。しかし、新しい品物の低価格化が続き、リサイクル品に対する触手が伸びにくくなっています。今後は、収集する品物を限定し、年1回の「だるま市バザー」に力を集中するつもりです。品物の提供は1,2月をお願い致します。皆様のご協力に心から感謝しています。



## 元気派ミーティング (議会報告会)

5月20日(木) 午後7時~8時30分

深大寺地域福祉センター 第1集会室



### 伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方に配って頂ける方を募集しています。事務所までご連絡下さい。  
TEL0424-88-4137  
Eメール gekk@ops.dti.ne.jp  
元気派市民とみとこの会の事務所は毎週月・火・木・金の10時から16時まで開いています。お見えになる方は予めお電話下さい。

## 救急救命講習会に参加して



心臓マッサージに真剣にとりくむ、みとこ。

議員有志と講習会に参加しました。救急車が来る5分間に救急救命の措置をすれば多くの人命が助かることは知られていますが、日本では講習受講者が少なく、貴重な人命が失われているとのこと。一人でも多くの市民が受講していれば、震災などが起きた場合でもまちの安心・安全に繋がります。調布市では、中学生が全員普通講習を修了するようになってきました。消防署に問い合わせれば講習を受けられます。3時間の講習です。是非、自治会、サークル単位で受講してみましょ。

## 「深大寺北町花ひろば」写真展を見て

4月5日~11日、文化会館たづくり・11階みんなの広場で開催された「深大寺北町花ひろば」の手作り写真展を見に行きました。市の「花いっぱい運動」の一環として、市保有地を事業が始まるまでの間、地域の人たちで花と緑を育てようと、97年秋に現在の深大寺保育園向かいの市有地で始め、数人のボランティアの方が7年間、手入れをして草花を育ててきました。荒れ地がチューリップ、ひまわり、コスモスと四季折々の花が咲く場所に生まれ変わってきた様子と、ずっとそこに注がれた愛情が写真を通して伝わってきました。出来た種を大事に育て、咲いた花は福祉施設で生かされたり、苗は配布されたりしています。市有地で活用できる場合は他にもまだあるはず。これからの市民と行政の協働を考えると、例えばベンチや事業説明の看板設置など、行政にはまちづくりでのより協力的なパートナーシップを発揮してもらいたいものです。

会場には草花への愛がほとばしって...

### 編集後記

今回はほんの少しだけお手伝いしました。でも、参加できて良かった(ちえみ)

神代植物公園の桜のライトアップに行った。とってもキレイなのに人出が...。入場パスポートがなくなるのも残念。(ちはる)

編集に初参加。伝えることのむずしさを実感。でも、きつと「思い」は通じるはず!(マサコ)

いろんな人が携わってこのニュースができる。いろんな人の手で届けられている。いろんな人がもっと増えるといいな。(まどこ)

胸が痛む事件が続きます。「子どもに残したい地球」って何か、大人は真剣に考える時。(みとこ)



季節感がなくなった店先の苺を眺めながら、郷里で初夏に摘んだ酸っぱい路地ものの苺の味を思い出しました。(みとこ)

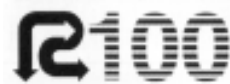
## 元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからもずっと住み続けたいまち・調布にしていましょ。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!  
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。  
口座番号 00180-5-577951  
加入者名「元気派市民とみとこの会」  
「みみチャンネル」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。

- 次の活動を行います
- 1 懇談会、講演会の開催
  - 2 会報、パンフレットの発行
  - 3 その他



古紙配合率100%再生紙を使用しています。